

策定しました

# 奥行臼史跡公園整備基本構想

概要版  
令和4年5月  
発行

旧奥行臼駅通所は1910(明治43)年に開設した奥行臼駅通所を中核とする史跡となっています。駅通制度の最盛期である大正時代の部分も現存する駅舎は創設時と変わらない場所にあり、当時使われていた調度品や馬小屋が残っています。また、交通の要衝であった証である各方面への旧道跡もあり、当時の景観をよく残している北海道開拓の具体的な歴史を物語る極めて重要な歴史遺産です。

史跡内及びその周辺地には、駅通、国鉄駅、簡易軌道という異なる時代の交通遺産が集中しており、史跡指定地のみを整備するより、一体的に整備するのが望ましいと考え、これら3つの時代の異なる交通遺産を奥行臼史跡公園として総合的に整備することを目指し、2021(令和3)年度に整備基本構想を策定しました。

## みんな知ってる？ 史跡を取り巻く歴史文化

歴史的観点

鉄道期

簡易軌道期

駅通所期

先史(近世)・旧石器・アイヌ文化

### 奥行臼史跡公園周辺の歴史 TOPICS

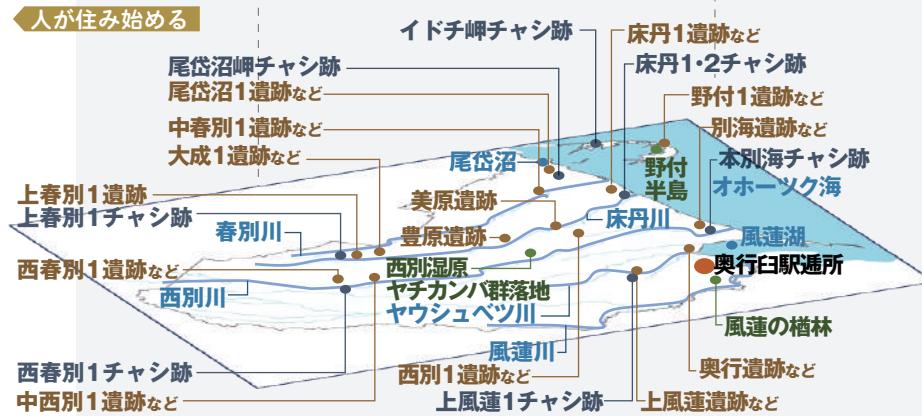
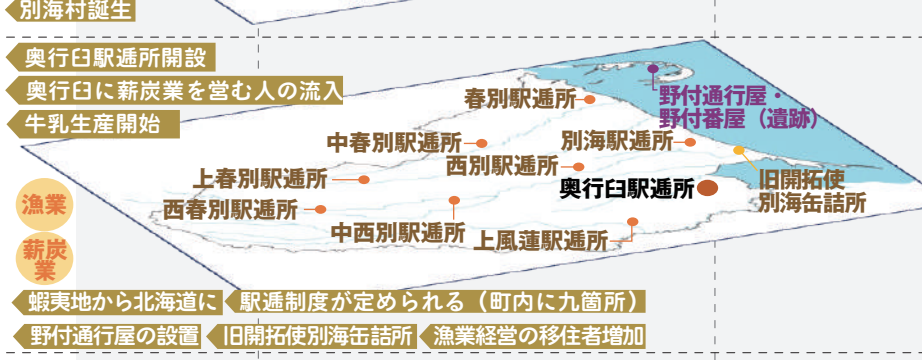
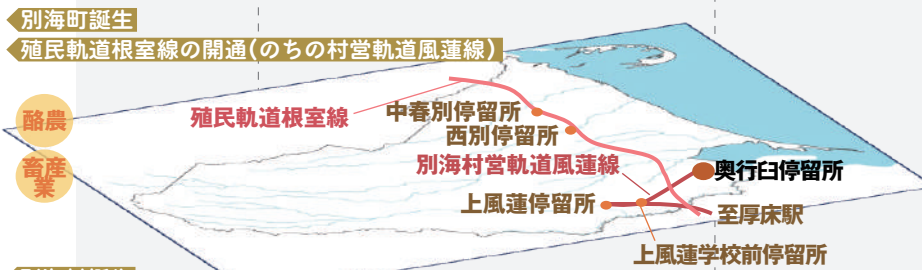
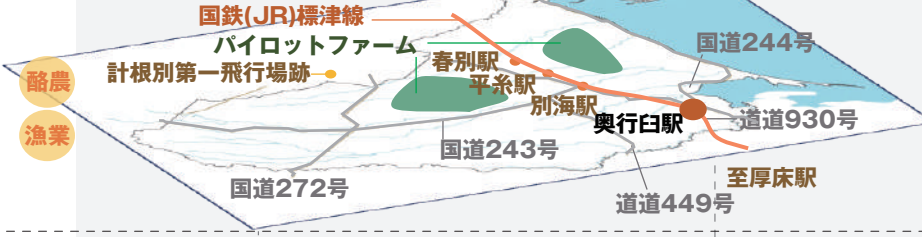
- 平成元年に廃線
- 昭和8年のちの国鉄(JR)省線標津線の一部開通に伴い奥行臼駅開設
- 昭和29年にパイロットファーム計画開始
- 機械導入と、大規模酪農経営に向けた先進的な酪農事業が展開

- 昭和5年山崎藤次郎はその駅舎で旅館業を継続
- 上風蓮からの牛乳をトラックに積み替え輸送する拠点となる
- 昭和38年に奥行臼を始点とする村営軌道が開通
- 大正13年に殖民軌道根室線が開通
- 昭和8年に廃止

- 野付通行屋・野付番屋は江戸時代の根室、厚岸・標津、目梨への交通の拠点
- 明治11年に開拓使が西別川河口に設置
- 近代的水産加工業の先駆け
- 駅通制度の制定・明治43年に山崎藤次郎が奥行臼駅通所業務開始

- 後期旧石器時代の細石刃や野付半島沖でマンモスゾウ臼歯化石が出土
- アイヌ語で罾や柵囲いを意味するチャシが複数発見される
- 春別川、ヤウシュベツ川、風蓮川などで形成される河岸段丘
- 史跡内の小川周辺ではハンノキ、トドマツ湿性草本群落が見られる
- 樹齢500年のオククキウスの大櫓は町指定天然記念物
- 川沿いは低湿地帯
- 火山灰の土壌

村営軌道廃止 別海村に3つの漁業協同組合結成  
 新酪農村計画・パイロットファーム事業開始  
 奥行地区の産業は薪炭業から酪農業へと転換  
 鉄道の開通により奥行臼駅開業



# 整備のテーマと基本方針

## 基本理念

3つの時代の交通遺産と北海道開拓の歴史や地域の発展を支えた奥行地区の体感

文化財の保護と活用の両立を図りながら、利用者の利便性の向上、わかりやすい歴史展示や解説のしつらえを行い、町民の理解と協力を得ながら、郷土愛の醸成、地域振興にも寄与する史跡公園を目指します。

また、遺構からうかがえる当時の暮らしに体験することができる整備を目指すとともに、史跡の整備やガイダンス施設などのハード面の整備とともに、史跡を活用した体験活動などのソフト面の取り組みの充実も図ります。

## 基本方針と活用のテーマ

史跡の維持管理を適切に実施するとともに、地域活性化につながる魅力創造を図るため、「体感」「発信」「共感」「体験」「連携」をテーマに整備・活用を行います。

### 体感

歴史の物語と環境の融合による新しい体感型フィールドパークを創造します。

### 発信

史跡公園のガイダンス機能に加え、道東エリアの歴史文化体験の玄関口となり、地域振興、産業振興につながる魅力を発信する拠点となる機能を整備します。

### 共感

町民が、学び・憩い・交流しながら、歴史文化の良さに気づき、学び、関りを深めていけるような、「共感」の輪を広げる段階的な取組を実施します。

### 体験

郷土愛の醸成し、何度でも訪れたい、持続的に展開していくことのできる、発展・連携・協調・特化・ターゲット別の体験コンテンツを造成します。

### 連携

道内の駅通所や道東エリアの歴史文化資産と有機的に連携した、「人」「資源」「地域」の連携のマネジメントサイクルを推進します。

## ゾーニングと整備イメージ

史跡整備構想の実現のため、全体の整備の考え方や、ゾーニングと整備イメージを取りまとめました。

### 自然体験ゾーン

自然環境をいかして、自然観察や環境学習ができるゾーンとして、樹木などの森林管理を行なっていきます。



至根室旧道跡散策路

踏切跡の再現整備

エントランス

クマ出没注意喚起

### 旧国鉄線体感ゾーン

国鉄時代を体感する環境を創造するゾーンとして、奥行臼の歴史を伝える文化財や歴史的な地域資産はその本質的価値を損なうことなく、未来への遺産として保存活用します。



転車台の復元

### 旧村営軌道跡体感ゾーン

村営軌道時代を体感する環境を創造するゾーンとして、奥行臼の歴史を伝える文化財や歴史的な地域資産はその本質的価値を損なうことなく、未来への遺産として保存活用します。

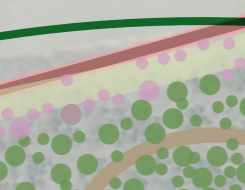
### コアゾーン2 (ミルクタンク積換体感空間)

村営軌道時代の停留所・ミルクタンク積換空間を体感・体験できる場所にします。



キャンプサイトの整備

フリースペース+子どもの遊び場整備



引き馬・ホーストレッキング体験

旧国鉄線路跡の修繕・トロッコ乗車体験



### コアゾーン3 (旧奥行臼駅体感・体験空間)

国鉄時代の旧奥行臼駅を体感・体験できる場所にします。



旧奥行臼駅舎の保存修理・内部展示の充実

### 交流・情報発信収益ゾーン2

イベントやキャンプなどのサービス提供を中心とした交流・情報発信、地域の歴史展示、収益展開を図ります。



旧奥行臼駅通所体感・体験

### 交流・情報発信収益ゾーン1

史跡公園の管理運営、交流・情報発信、収益展開や、ガイダンス機能を持った施設の設置など、第4の駅としての位置付けで、拠点施設を整備します。



馬の放牧地景観を表現(写真はイメージです)

### 駅通所時代の風景体感ゾーン

駅通所時代の風景を体感できるゾーンとして、史跡の本質的価値を構成する諸要素の老朽化や劣化が著しいものはその本質的価値を損なうことのないよう、保存修理を行います。

### コアゾーン1 (旧奥行臼駅通所体感・体験空間)

旧奥行臼駅通所を体感・体験する場所にします。



ベンチやデッキの整備

桜の植栽・花見



馬小屋2棟・倉庫の保存整備

フットパスの活用



情報発信や地域のお土産を購入できる拠点施設の整備



# 広域連携による魅力創造

本史跡公園を、交通遺産ガイダンス施設および根釧地域の歴史文化体験のゲートウェイ施設（根釧地域の玄関口）として位置づけ、広域連携による魅力創造を目指します。

## 【道内駅通所との連携】

現存する道内の駅通所と連携を図りながらその価値を再認識することで、地域の魅力を保存活用する機運づくりを進めていきます。

## 【根釧地域及び別海町周辺資源との連携】

観光ルートの設定や地域活動や学習での活用を見据え、奥行白駅通所の歴史的な価値や魅力への理解を深めるよう、広域の連携による魅力の創造を目指します。

- 殖民軌道・国鉄・簡易軌道・JR 標準線関連
- 日本遺産「鮭の聖地」の物語にまつわる歴史資産
- アイヌ文化にまつわる歴史資産
- その他町を魅力づけるさまざまな資産（フットパスコースや戦争関連資産）



# 事業スケジュール（予定）

本事業は、町民のみなさんへの情報発信や参加の場を継続的に設けながら、2030年の工事完了を目指し推進します。町民のみなさんと共に奥行白史跡公園をより素敵な公園として整備していきます。

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
史跡公園整備基本構想（全体）	■									
史跡公園整備基本計画		■	■	■						
基本・実施設計				■	■	■				
工事						■	■	■	■	■
町民参加・展示 活用		■	■	■	■	■	■	■	■	■

## 【これまでに実施してきた町民参加のイベントや活動】



引き馬体験



ポニー馬車試乗



トロッコ試乗



奥行地区文化財見どころツアー



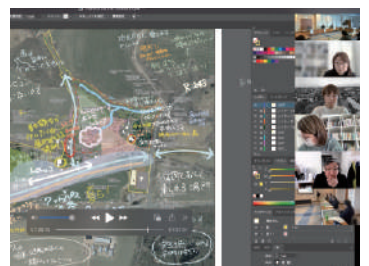
別海高校生による牛乳等の配付・河崎チーズ工房チーズの販売



別海音頭披露



旧標津線沿線を歩くフットパス



町民ワークショップ（オンライン）

お問合せ先：別海町郷土資料館（TEL:0153-75-0802）